

# 注目の市民運動情報

私たちの「平成維新を実現する都民の会」には沢山の委員会があります。また、まだ委員会の形は取っていませんが、市民運動と交流して活動している会員もいます。このページではそうした情報を伝えます。(編集部)

## 青島市民ネット(青島さんと供に東京を変える市民ネットワーク)

9/12「ゴミ」の勉強会が中央労政会館であった。自区内処理の代表服部さんから、簡潔明瞭な良い発言(戦略性さえあった!)があった。1992年のゴムシート破損の報道から始まった。「気付いたこと」1.「広域処理」の限界、問題解決が当事者同士で完結しない。問題の処分組合の位置付け・責任が不明瞭になる。2.中間処理で・燃やすそして灰を埋める(天と地を汚染する)。「この間の経過」3.何故座り込み?選挙前に各候補者に「公開アンケート」を出していた。「情報公開すべし」の回答をもらっていた。ほとんどの市で会が出来、185名の議員が共同声明を出した。4.公害防止協定に因る地下集水管の水質・電気電動データ、公害審査会で、住民が処理場の中に入りデータの確認をしている。梶山弁護士証言している。5.「95/7」になって方向転換」7.21着工に当たって、「間接強制金」で厚生省の補助金ストップしている?9/9開示予定を(現在)撤回して来た。6.行政は自治会(町内会)に公開(形式的)すれば、住民の確認を得たことにしている。裁判所は「周辺住民(行政の線引きに捕らわれないで、田島さんの言い分を認めた。)-更に「発表されるデータに改竄の恐れがある。」との見解も提示した。(「谷戸沢処分場の汚水漏れデータ開示と原因究明、修復の見通しが立つまで」の出町第二処分場建設工の凍結を求める署名 東京都知事 青島幸男殿)の運動を展開中、ぜひ!!)7.秘書の一人ウエノ氏は、鈴木知事の時、清

掃局の局長だった人だ。三多摩市長会は、第2処分場問題と汚染問題をゴチャ混ぜにしてる。ゴム・シートはスタスタに破れてる。「これから」8.10/1第2処分場にトラストした地で、「森の音楽会・自然を生かした街づくり」の実行を決めた。トラストはもう少しで締め切る。他に廃棄物を考える市民の会の藤原さんの都の「ごみ行政の総合的な発表があった。三多摩のゴミは前史があり、1960代後半砂利穴に埋めて、悪臭にたまりかね住民が運搬トラック阻止の行動もあった。日本は先進工業国として現在を築いたが、実は裏側に廃棄物の問題があり、猛毒の上で生活しているとんでもない。行政はその事実をヒタ隠しにする。都政は誰のための行政をしているのだろうか?!

「青島幸男との契約」都政を見守る有志の会、編 飛鳥新社

ふるさと東京を守る会TEL(3462)0066会長市野直香

時々新聞記事として扱われるが、「固定資産税の不服審査請求」を東京地裁で行政訴訟にもつていっている。ふるさと東京を守る会固定資産税訴訟団の裁判費用として支援金募集個人1万円法人・団体1口2万円北野弘久「納税者の権利」岩波新書

## 週刊読売に連載中の坂村健の「BTRO NCUBU」

コンピューターとソフトウェアの情報は確かです。日本人は地球人の立場で、これからのことを考えようとするなら無視出来ない情報源です。事務局:パーソナルメディア(株)内TEL03(5702)0355隔月の会

合です。参照「TRONWARE」パーソナルメディア隔月刊誌  
以上、情報提供、(渋谷区)長谷川 文昭  
市民運動フォーラム原稿募集

21世紀は、日本の価値観が世界に浸透する世紀だと私は考えています。

17から20世紀まで近代西洋文明は、人間が自然を征服するのだという理念で自然は地球規模で破壊されてきました。然し、もう限界です。開発途上国によって残されていた自然も、アマゾンのジャングルまで開発に晒されています。今こそ、自然との共生で生きてきた祖先の生き方を学び直し、奇跡の経済復興をした国として後に続く国々に、日本と同じ過ちを繰り返さないよう訴えなければなりません。  
また、より強く、より大きく、より速くと求めてきた為におきたゴミ問題で分かるように、自然の摂理である循環思想が必要で、プラスチックを腐食させる微生物は、浄化槽でも活躍します。ゴミ処理は微生物無くしてはあり得ません。  
この様な視点に立って、私たちの生活をもう一度皆さんに考えて頂きたいのです。ある食品会社の方は、インスタント食品を作り続けて来ましたが、インスタント食品が原因で家庭の主婦が手抜きをし料理をしなくなり外へ出て働いたりカルチャーセンターへ通い始めたのだとすると、次にどういいう新商品を考えてたら社会へ貢献できるのか分からないと言います。  
家庭と食品会社の関係。これも考えてみて下さい。  
21世紀、どういいうライフスタイルを私たちは望んでいるのでしょうか。  
また住環境ですが、自然との共生を一番肌で感じられる所です。私は、現代の住空間に茶

室の思想を取り入れたいと考えています。都会のアパートやマンションにどうやって取り入れる事が出来るでしょうか。お考えを図入りで説明して下さい。  
食・住と続きましたから、衣の方も考えてみて下さい。

着物も今の晴れ着ばかりでなく、高松塚古墳の壁画のようなものから、水干や武士の狩衣等歴史的に見ると様々あります。また女性もオフィスに出るようになった為靴を履いたままの生活で指が変形したり、男性も水虫に悩む人が多くいます。日本のような湿度が高い国で革靴は有効でしょうか。草履の似合う服を考えてもいいと思います。

以上「21世紀への日本の価値観による提言 衣・食・住・全般」の論文を募集します。締切日 平成7年12月31日 400字詰原稿用紙 5枚以内 宛て先 〒1157 東京都世田谷区成城5-9-3 梶原光恵までTEL03-3482-17836 FAX03-3482-17838 Nifty I D BXD04747

鹿児島空港で見つけたテレビホンカード

さすが、地元の西郷さんが中心



NTT